

問 まちづくりの具体的施策は

答 人づくりのための基盤整備を行う



新政とうかい
ますい ふみお 議員
舛井 文夫

問 第6次総合計画では、SDGs（持続可能な開発目標）という新たな理念が打ち出されたが「真に村民が主体となった持続可能なまちづくり」との関連性と具体的な施策は。

答 将来ビジョンに『輝くSONZAI』つながるTOKAI』く共に生き 共に育つしなやかで活力あるまち』を掲げた。「人づくり」を計画の核とし、分野横断的なつながりを重視し、施策ごとの方向性を示している。



持続可能なまちづくりをのぞむ

具体的施策は実施計画に位置付け、人づくりに関する施策や基盤整備等を行う。

問 コロナ禍で、村内の人づくりの取組や地域における活動に影響が出ている。今後どのように進めていくのか。

答 東海村の素晴らしい点はふれあいと支え合い。人が集まれる機会、ふれ合える機会を何とかつくりたいと、ますます地域は疲弊してしまふ。地域の皆さんの主体的な活動を、村として応援していく。またコロナ対策をしつかりと講じた上で、村が率先してイベントや講演会を行っていく。

問 原電の防潮堤に係る津波対策は

答 ハード的対応ではなく避難誘導を



むらかみ たかし 議員
村上 孝

問 原電は津波対策として発電所の周辺を高さ20m、全長約1.7kmの防潮堤を整備している。この想定津波による本村への影響をどのように捉えているのか。

答 本村への津波の影響に関しては、茨城県が検討、公表した茨城沿岸津波浸水想定において、津波水位が4.3m、10.9m、津波最大遡上高は12.3mとされ、河川沿いや低地部の津波浸水範囲を想定している。過去の実態に応じたL2レベルの津波への対応は、ハード対策ではなく高所避難等のソフト対策を



津波対策は防潮堤のみならず村内の橋も重要

図っていく。

問 原子力センター構想の実現を

答 第6次総合計画でも事業継続

問 本村の誇りある政策である原子力センター構想は、第6次総合計画にどのように位置づけているか。

答 最先端科学が集積する本村の特性を生かして、原子力人材育成確保協議会を中心に原子力関連企業雇用の育成、新産業の創出や若手研究者への支援、サイエンス講座などの開催に取り組んでいる。